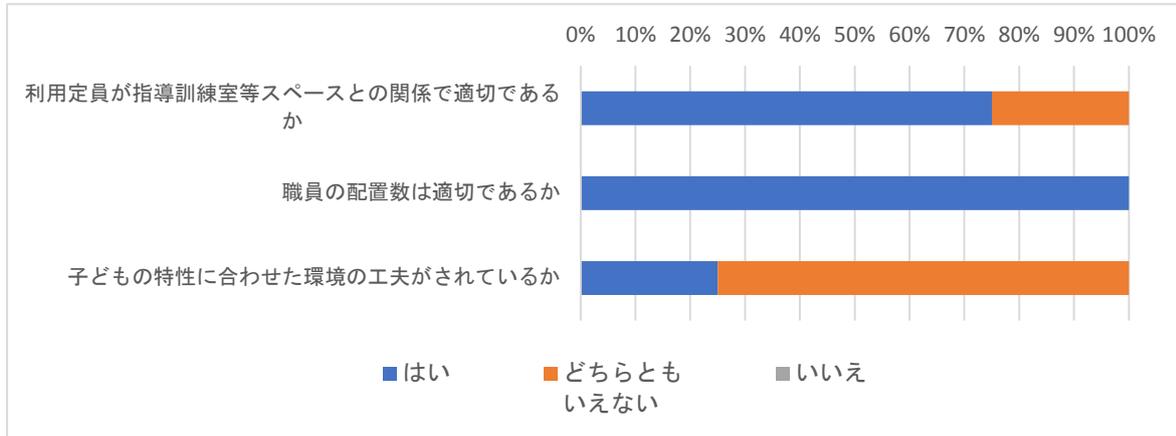


## 平成30年度石川療育センター放課後等デイサービス事業所評価 自己評価の結果

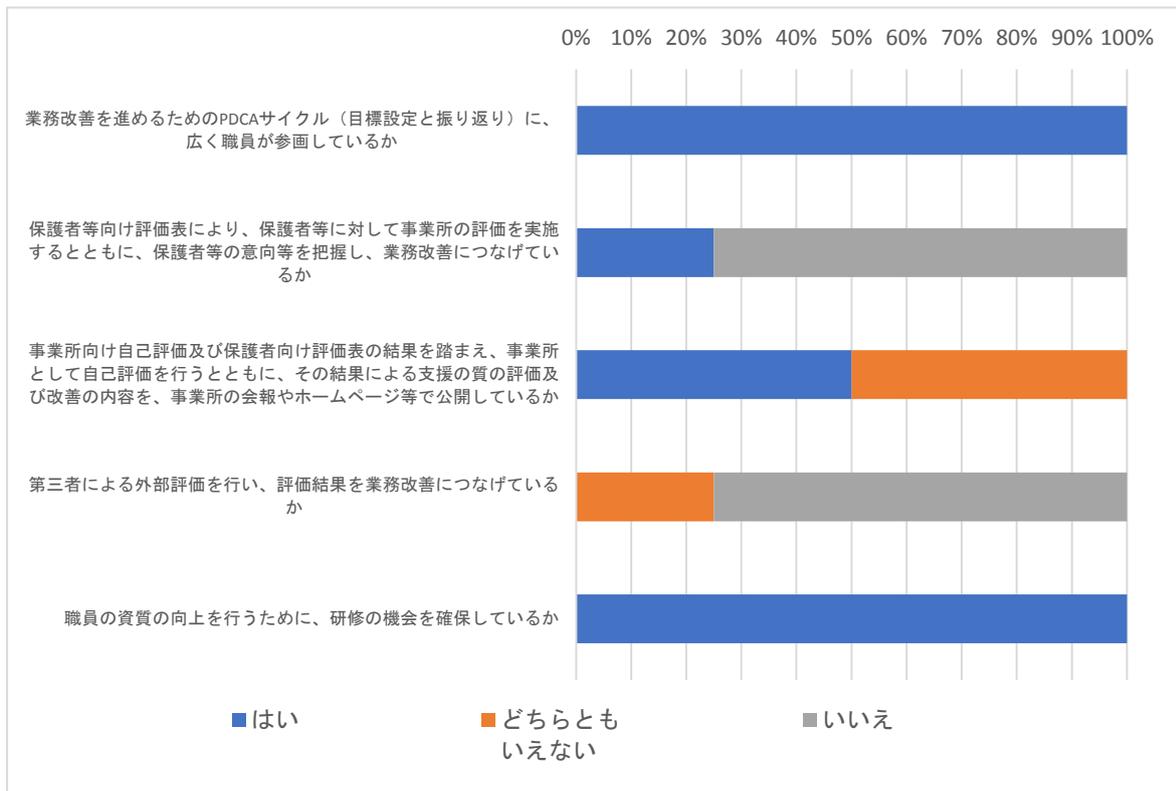
### 重症心身障児の方へのサービス内容に関して

#### 【環境・体制整備】



基本的には受け入れ人数に対してのスペース等は適切であると思われていますが、人数を多く受け入れる場合には近くの別室を利用する等しています。多機能型なので利用者の受け入れの年齢は様々ですが、一人一人の特性に合わせた環境の工夫を大事にしたいと考えています。

#### 【業務改善】

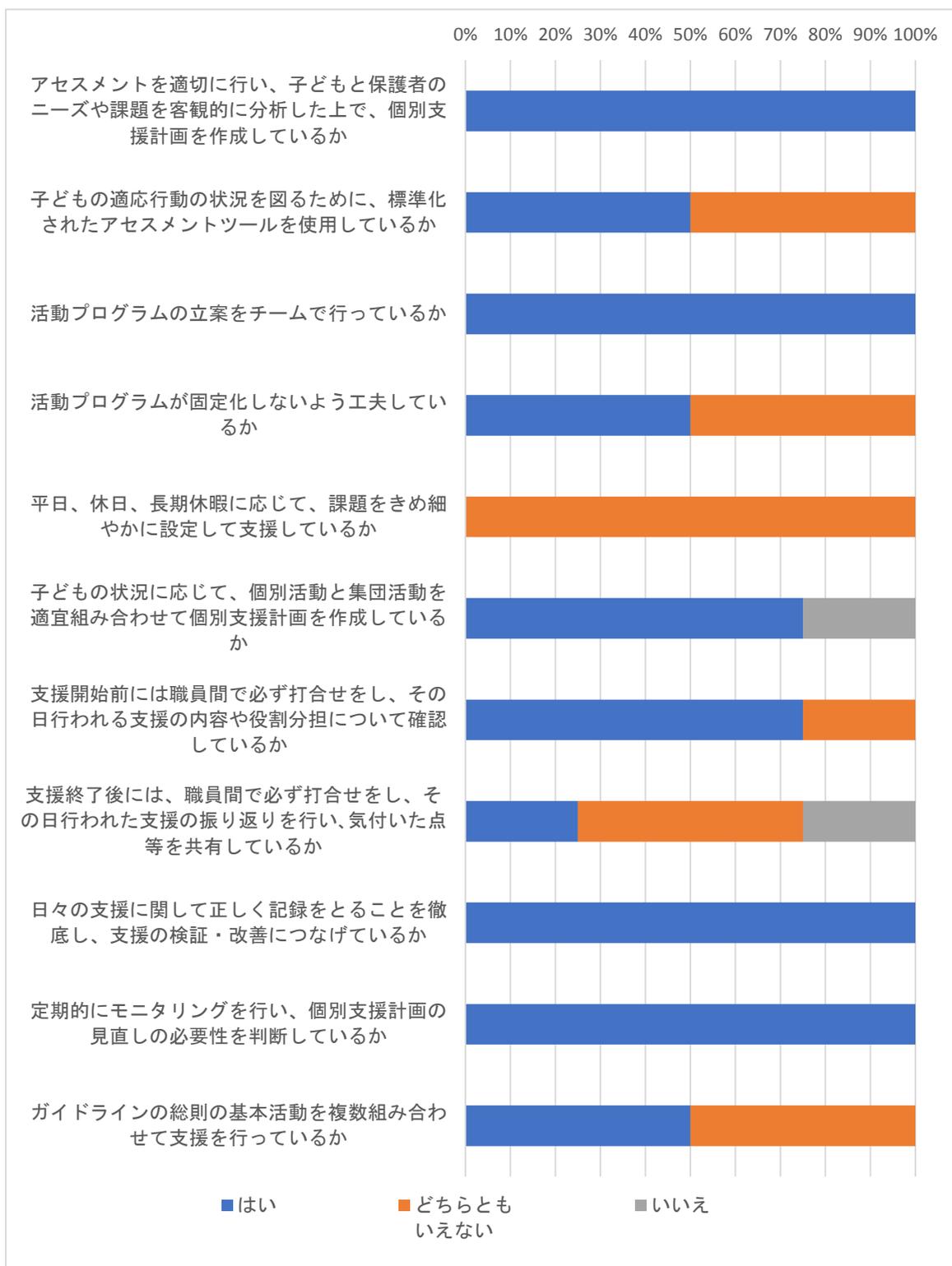


不都合等については、皆で話し合い共有できています。また院内外の研修にはサービスに支障が出ないように配慮しつつ参加しています。

医療的ケア児を受け入れているため、今後いっそうのスキルアップを目指して、基礎的な医療

を含む研修等を企画し行いました。これについては今後も取り組んでいきたいと考えています。

【適切な支援の提供】



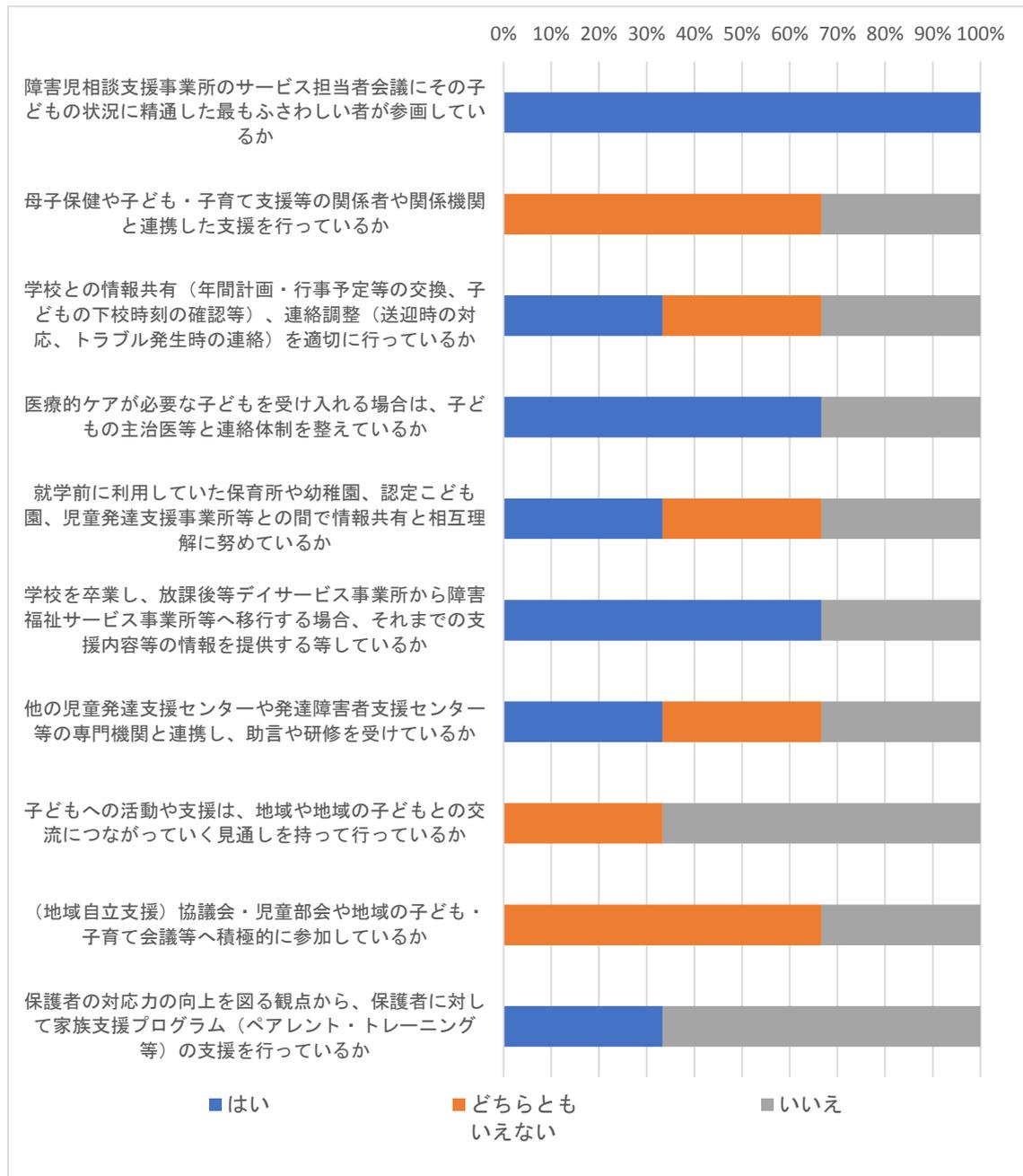
生活介護では細かくアセスメントを実施し、ニーズ整理をし、個別支援計画の作成をおこなっており、放課後等デイサービス等でも同様に実施したいと思います。また児童期の場合は年齢に応じた必要な支援があると考えられ、場合によっては学校との情報交換や当機関の外来の専門家等との連携が必要と考えています。

活動プログラムは、個別のニーズに対しての支援が出来るように心がけていますが、さらに個

別なニーズをより深く把握して、個々に即した支援が提供出来るように創意工夫をしたいと思えます。今後も、本人のニーズに合わせた新たなプログラムを取り入れていきたいと考えています。

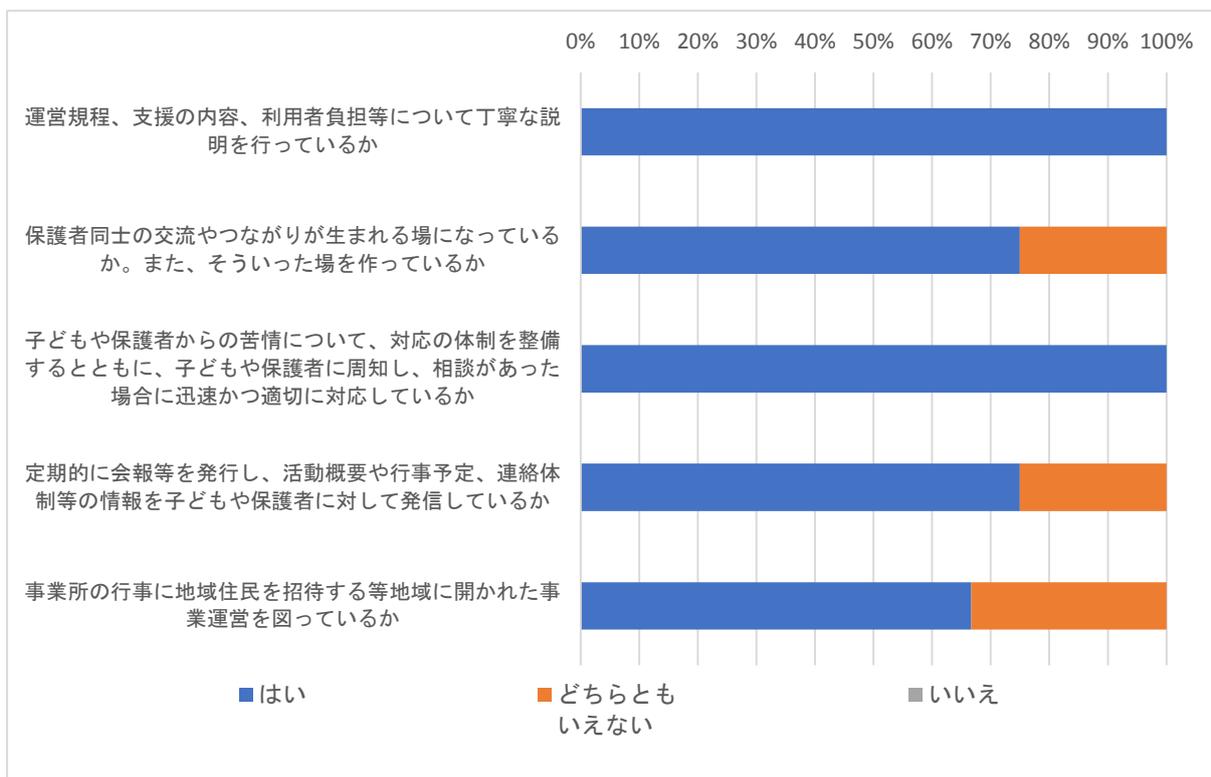
職員間では固定した時間を決めてはいませんが、支援に対して気になることは、必要に応じて、その時か、終了後に話し合いを行い、解決するように心がけています。

### 【関係機関や保護者との連携】



保護者さまとは連絡ノートや送迎時を利用し、日常的に連絡や報告等を毎日行い、変化や要望等はスタッフとその都度共有しています。学齢児の方の利用があれば、学校等必要な機関との情報の共有は行って行きたいと思えます。また医療的ケアが必要な方の場合、その主治医との連絡に関しては保護者さまを通して情報を共有しています。必要時には当機関の医師と主治医とが連絡を取って情報交換を行っています。

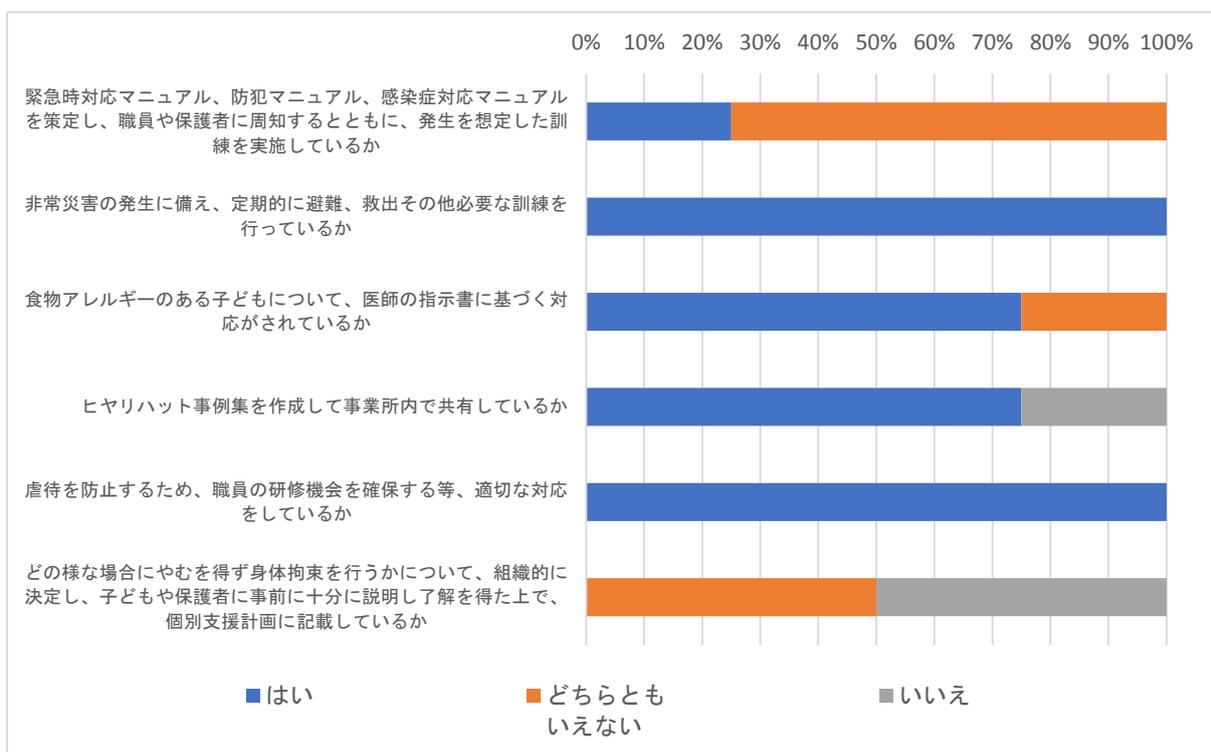
### 【保護者への説明責任等】



日々の様子については毎日連絡ノートに記載し、送迎時に話をして保護者さまにお伝えしています。また年2回お便りを発行して、活動の様子等を伝えています。これについては今後も取り組んで行きたいと考えています。

保護者同士の交流の場となる機会を増やしていきたいと考えており、次年度はそういった場を作っていけるような企画を考えています。

### 【非常時の対応】



緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、各場所（部屋、送

迎バス等) に備えてあります。また避難訓練にも参加していますが、保護者さまへの案内、情報提供は充分とはいえないので、非常時の対応方法を保護者さまと共有できるよう、次年度は災害時における避難の手順を作成し、お知らせやお便り等を利用して保護者に伝えていき、共有していくようにしたいと考えています。